

身につくもんでなくはいかん

一月五日 日曜日 身につくもんでなくはいかん

まだ 太陽が出ていない頃から時々、目が覚めていたことは覚えてる。しかし、本当に目が覚めたのは十時頃。しかし、寒い体がだるいので足を思いっきり伸ばして、目をふたして、頭をふとんの中につっこんで海老の様に寝る。

起床は昼すぎ。おばあちゃんが吉田からの連絡のはがきを持って上がって来た時に、勢いつけて起きた。

明日、中三の追い出しコンパがあるそうだ。僕も行くつもり。先輩から追い出される側だ。

起きて、そのまま、単語帳、英文解釈の本、辞書、ざら半紙、鉛筆を持って下に行き、テレビを見ながら英文解釈。

それで勉強できるのか。勉強してるつもりだが。

昼めに、京太のパン、それに、お母ちゃんの焼きそばをへつり、餅を四つ食べた。

